

Sibelius 6

バージョン機能とコメント機能

音楽ソフトウェア至上初となるもうひとつの独創的な機能は、バージョン機能です。作成中のスコアの変更履歴を記録し、前のバージョンに遡って、変更点を確認できます。これは、あらゆるユーザーにとって貴重な機能です。学生は、課題の作成中に進行状況を記録し、曲と一緒に自動コメントを提出することができます。教師は、それぞれの生徒が前の週から行った作業内容を確認し、バージョン編集ウィンドウを使って彼らのコメントを読むことができます。同様に、作曲家やアレンジャーは、初期バージョンのスコアを見直したり、編曲家や出版者、その他の関係者によって行われた変更を見ることができます。ゴミ箱から昔の譜面を掘り出したり、何週間も前のバックアップを苦労して探し出す必要はなくなりました。スコアの前のバージョンを表示するには、ツールバーのリストから選択するだけです。過去のバージョンは、しわのよった紙に表示されるので、現在のバージョンと間違えることはありません。これらの旧バージョンを印刷、再生または別ファイルとして書き出すことができます。前のバージョンからスコアをコピーして、以前は却下したアイデアを再度使用、または前のバージョンを全て復活させることもできます。バージョンを保存は、ボタンをクリックするだけで完了です。日付や時間、名前及びオプション・コメントなどが一緒に保存されるため、どのバージョンがどれかを覚えておく必要はありません。全てのバージョンは現在作業中のスコアと同じスコアに保存されるため、後から検索する必要はありません。さらに、スコアの2つのバージョンを比較、または2つの異なるスコアを比較して、違いを確認することもできます。相違点の概要と詳細なリストが作成されます。追加、変更、削除されているオブジェクトは、スコア内で色分けされて表示されるので、簡単に見つけることができます。これらの変更がハイライトされている、各ページの変更点やグラフィックの一覧表示をWordファイルに書き出すこともできます。教育現場では、生徒のクリエイティブな日記、週間レポートなどに利用することができます。